



# クォータをアクティブ化する方法

## ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

クォータをアクティブ化する方法 .....	1
クォータをアクティブ化する方法の概要 .....	1
サイズ変更を使用すべき状況 .....	1
クォータの完全な再初期化が必要な場合 .....	3

# クォータをアクティブ化する方法

## クォータをアクティブ化する方法の概要

新しいクォータおよび既存のクォータに対する変更を有効にするには、アクティブ化する必要があります。アクティブ化はボリューム レベルで行われます。クォータのアクティブ化方法について理解することにより、クォータをより効率よく管理できます。

クォータは、初期化（オンにする）または `_サイズ変更_` によって有効になります。クォータをオフにしてから再度オンにすることを再初期化と呼びます。

アクティブ化にかかる時間とアクティブ化がクォータ適用に及ぼす影響は、アクティブ化のタイプによって異なります。

- 初期化プロセスは、``quota on`` ジョブとボリュームのファイル システム全体のクォータ スキャンの2つの部分で構成されます。スキャンは、``quota on`` ジョブが正常に完了した後に開始されます。クォータ スキャンには時間がかかる場合があります。ボリュームに含まれるファイルが多いほど、スキャンにかかる時間は長くなります。スキャンが完了するまでは、クォータの有効化は完了せず、クォータは適用されません。
- サイズ変更プロセスには ``quota resize`` ジョブのみが含まれます。サイズ変更はクォータ スキャンを必要としないため、クォータの初期化よりも時間がかかりません。サイズ変更プロセス中もクォータは適用され続けます。

デフォルトでは、``quota on`` および ``quota resize`` ジョブはバックグラウンドで実行されるため、同時に他のコマンドを使用できます。

アクティベーション プロセスからのエラーと警告は、イベント管理システムに送信されます。``volume quota on`` または ``volume quota resize`` コマンドで ``-foreground`` パラメータを使用すると、ジョブが完了するまでコマンドは戻りません。これは、スクリプトから再初期化する場合に便利です。後でエラーと警告を表示するには、``-instance`` パラメータを指定した ``volume quota show`` コマンドを使用します。

アクティブ化されたクォータは、停止およびリブート後も維持されます。クォータのアクティブ化プロセスがストレージ システム データの可用性に影響を与えることはありません。

### 関連情報

- ["volume quota on"](#)
- ["volume quota resize"](#)
- ["volume quota show"](#)

## サイズ変更を使用するべき状況

クォータのサイズ変更はONTAPの便利な機能です。また、クォータのサイズ変更はクォータ初期化よりも高速であるため、可能な限りサイズ変更を使用してください。ただし、注意が必要な制限事項がいくつかあります。

サイズ変更を使用できるのは、クォータに対する特定の種類の變更に限られます。次の種類の變更をクォータ ルールに加える場合は、クォータのサイズを變更できます。

- 既存のクォータを変更する場合

たとえば、既存のクォータの制限を変更する場合などです。

- デフォルト クォータまたはデフォルト追跡クォータが適用されているクォータ ターゲットにクォータを追加する場合
- デフォルト クォータまたはデフォルト追跡クォータのエントリが指定されているクォータを取り消す場合
- 単独のユーザ クォータを1つのマルチユーザ クォータに統合する場合



クォータを大幅に変更したあとは、完全な再初期化を実行して、すべての変更を有効にする必要があります。



サイズの変更を試みたときに、サイズ変更処理ですべてのクォータ変更を反映できない場合、ONTAPにより警告が表示されます。ストレージシステムが特定のユーザ、グループ、またはqtreeのディスク使用量を追跡しているかどうかは、クォータ レポートから判断できます。クォータ レポートにクォータが表示される場合、ストレージシステムは、クォータ ターゲットが所有するディスク スペースとファイル数を追跡しています。

サイズ変更によって有効にできるクォータの変更の例

一部のクォータ ルールの変更は、サイズ変更によって有効にできます。次のクォータを考えてみましょう。

#Quota	Target	type	disk	files	thold	sdisk	sfile
#-----	----		----	-----	-----	-----	-----
*		user@/vol/vol2	50M	15K			
*		group@/vol/vol2	750M	85K			
*		tree@/vol/vol2	-	-			
jdoe		user@/vol/vol2/	100M	75K			
kbuck		user@/vol/vol2/	100M	75K			

次の変更を行ったとします。

- デフォルトのユーザ ターゲットのファイル数を増やす。
- デフォルト ユーザ クォータよりも多くのディスク制限を必要とする新しいユーザboris用に新しいユーザクォータを追加する。
- ユーザkbuck用の明示的クォータ エントリを削除。このユーザにはデフォルト クォータ制限だけでOKとなったため。

この変更により、次のクォータが作成されます。

#Quota	Target	type	disk	files	thold	sdisk	sfile
#-----	----		----	-----	-----	-----	-----
*		user@/vol/vol2	50M	25K			
*		group@/vol/vol2	750M	85K			
*		tree@/vol/vol2	-	-			
jdooe		user@/vol/vol2/	100M	75K			
boris		user@/vol/vol2/	100M	75K			

これらのすべての変更は、サイズ変更によってアクティブ化されます。クォータの完全な再初期化は必要ありません。

## クォータの完全な再初期化が必要な場合

クォータのサイズ変更の方が高速ですが、クォータに特定の変更を加えた場合は、クォータの完全な再初期化を実行する必要があります。

次の状況では、クォータの完全な再初期化を実行する必要があります。

- これまでクォータがなかった（明示的クォータとデフォルト クォータから派生したクォータのいずれも）ターゲットにクォータを作成する場合。
- qtreeのセキュリティ形式をUNIX形式からmixed形式、またはNTFS形式に変更した場合
- qtreeのセキュリティ形式をmixed形式またはNTFS形式からUNIX形式に変更した場合
- 複数のユーザを含むクォータ ターゲットからユーザを削除した場合、またはすでに複数のユーザを含むターゲットにユーザを追加した場合
- クォータに大幅な変更を加えた場合

初期化を必要とするクォータの変更例

3つのqtreeを含むボリュームがあり、ボリューム内のクォータは明示的ツリー クォータ3つだけであるとします。このボリュームに次の変更を加えることにしました。

- 新しいqtreeを追加し、新しいツリー クォータを作成する
- ボリュームのデフォルト ユーザ クォータを追加する

これらのどちらの変更にも、クォータの完全な初期化が必要です。サイズ変更では対応できません。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。